

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会
第15回 議事録(要旨)

日時：令和6年11月27日(水)
場所：自然学総合研究所

参加者一覧

| | | |
|-----|----------------------|---|
| 出席者 | 大塚 之稔 西條 好徳 | 日本野鳥の会岐阜 顧問 (一財)自然学総合研究所 理事・顧問 |
| 事務局 | 安江 成弘 裁 康将 他3名 | 恵那土木事務所濃飛横断自動車道建設課 濃飛横断自動車道建設第二係長 恵那土木事務所濃飛横断自動車道建設課 濃飛横断自動車道建設第二係 主任技師 大日コンサルタント株式会社 |

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会 議事録(要旨)

| 議題 | 発言者 | 番号 | 意見の主旨 | 対応 |
|----------------------------|-------|----|---|----------------------|
| 1. 令和6年繁殖期の調査結果について | | | | |
| | 事務局 | | 令和6年の現地調査等の実施状況や、新たに得られた情報を報告した。 | — |
| | 検討会委員 | 1 | オオタカの繁殖が成功したと認められる。 | — |
| | 検討会委員 | 2 | 3月のビデオ観察により繁殖の可能性を把握でき、5月以降も確実に繁殖状況を把握できた。巣の位置が判明している場合は、他箇所でも参考となる調査事例である。今後も同様に調査を実施することが望ましい。 | — |
| | 検討会委員 | 3 | 本年の調査では巣内外を移動する巣立ち幼鳥も確認されており、各月の調査実施日は適切であったと思われる。 | — |
| | 検討会委員 | 4 | オオタカ以外の猛禽類は、事業地周辺では繁殖していないだろう。 | — |
| 2. 今後の調査計画(案)について | | | | |
| | 事務局 | | 今年度と同様に、3月に定点観察および繁殖状況調査を行い、繁殖兆候を把握する。その後、5月、6月、7月に定点観察・繁殖状況調査を行う計画とした。 | — |
| | 検討会委員 | 5 | 調査の時期や方法について問題はない。今年度同様に実施するとよい。 | 計画に基づき、調査を実施する。 |
| | 事務局 | | 今後測量等を実施するために、営巣林内に立ち入ることが想定される。その際にオオタカに対して留意すべきことを確認したい。 | — |
| | 検討会委員 | 6 | 繁殖期でオオタカが敏感になっている時期の立ち入りを避けることが重要であり、特に、抱卵期は、営巣木付近に長時間滞在すると繁殖放棄の可能性が高くなる。産卵前(1月～2月)作業であれば、大きく問題はないと考えられる。産卵後の作業となる場合は、繁殖期の後に実施することが望ましい。 | いただいた意見を参考に 対応する。 |
| | 検討会委員 | 7 | UAVによる測量について、大型でないUAVは鳥類の生態調査などにも近年使用されていることから、鳥類への影響は問題ないと考えられる。 | いただいた意見を参考に 対応する。 |
| | 検討会委員 | 8 | 今後、事業影響が及ぶ場合、オオタカが営巣木を移動することも想定されるが、他の営巣木を使用した過年度実績や樹林の発達状況から、地域からオオタカがいなくなることはなかろうと思われる。問題となるのは工事の時期・タイミングであるが、当該地域における工事着手時期が近づいてきたら、対応を具体的に検討すべきである。 | いただいた意見を参考に 対応する。 |
| | 事務局 | | 次年度も、令和7年の調査結果を踏まえ、今後の調査や配慮事項について検討会に諮り意見を伺う。 | — |